

恵山の火山活動解説資料（令和2年11月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

- ・ 噴気などの表面現象の状況（図1、図2-①）
監視カメラによる観測では、Y火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調な状態です。
- ・ 地震及び微動の発生状況（図2-②～③）
火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。
火山性微動は観測されていません。
- ・ 地殻変動の状況（図2-④、図4）
10月26日～29日に実施したGNSS繰り返し観測では、基線長に伸びの変化が観測されています。
GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。



図1 恵山 西南西側から見た山頂部の状況（11月29日、^{たかだい}高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>）や気象庁のホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。また、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情復、第958号）。

次回の火山活動解説資料（令和2年10月分）は令和3年1月12日に発表する予定です。

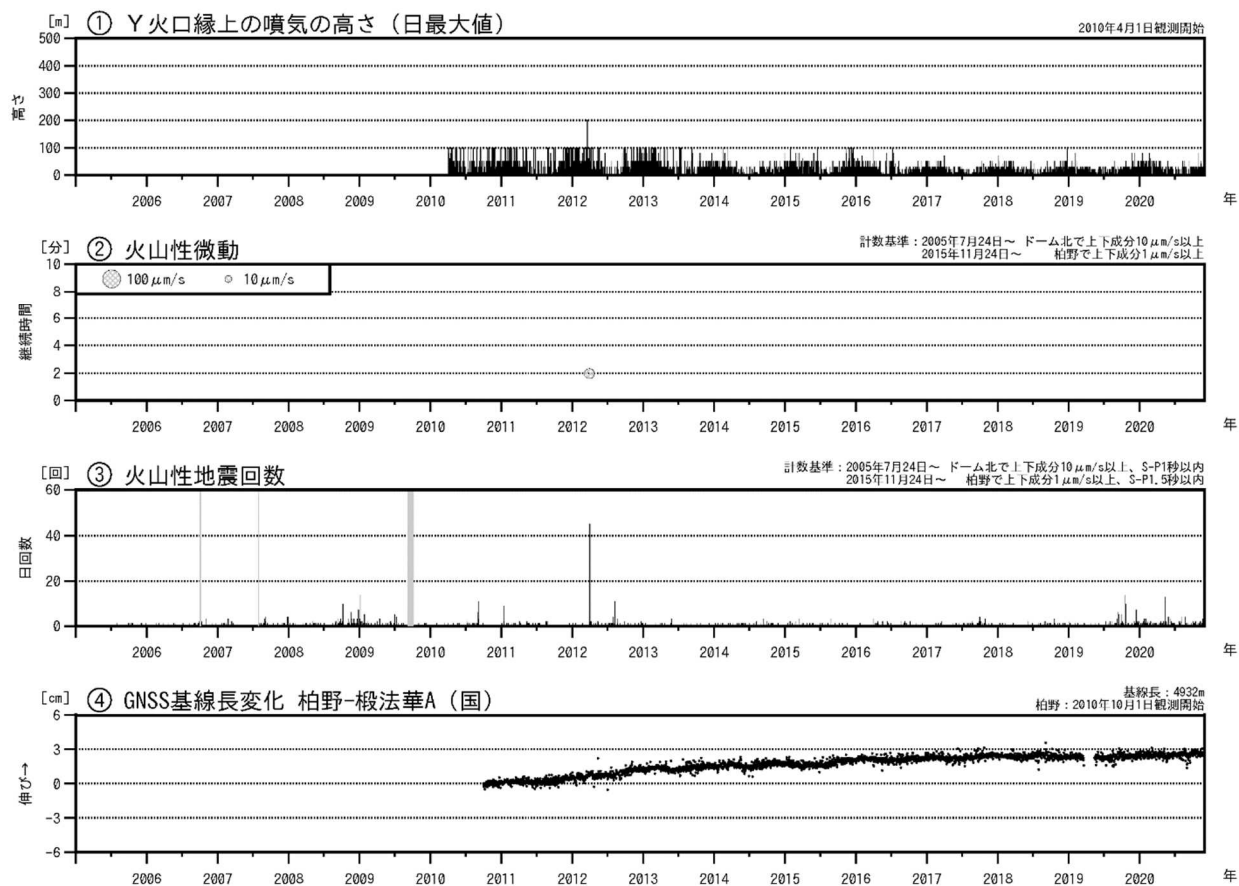


図2 恵山 火山活動経過図（2005年7月～2020年11月）

③の灰色の期間は機器障害のため欠測しています。

④のGNSS基線長変化は図3の基線に対応しています。

④のGNSS基線長変化の空白部分は欠測を示します。

④のGNSS基線長変化は「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。

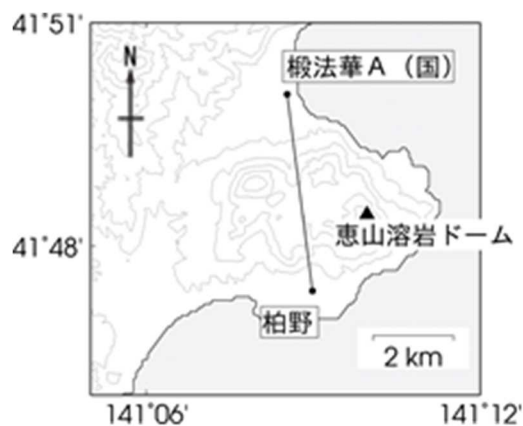


図3 恵山 GNSS 連続観測基線図

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

（国）：国土地理院

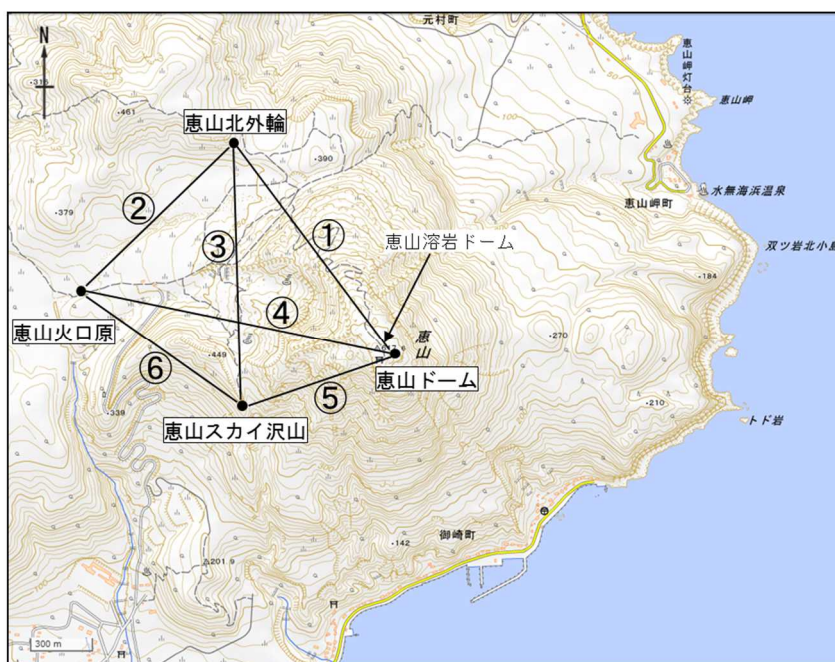
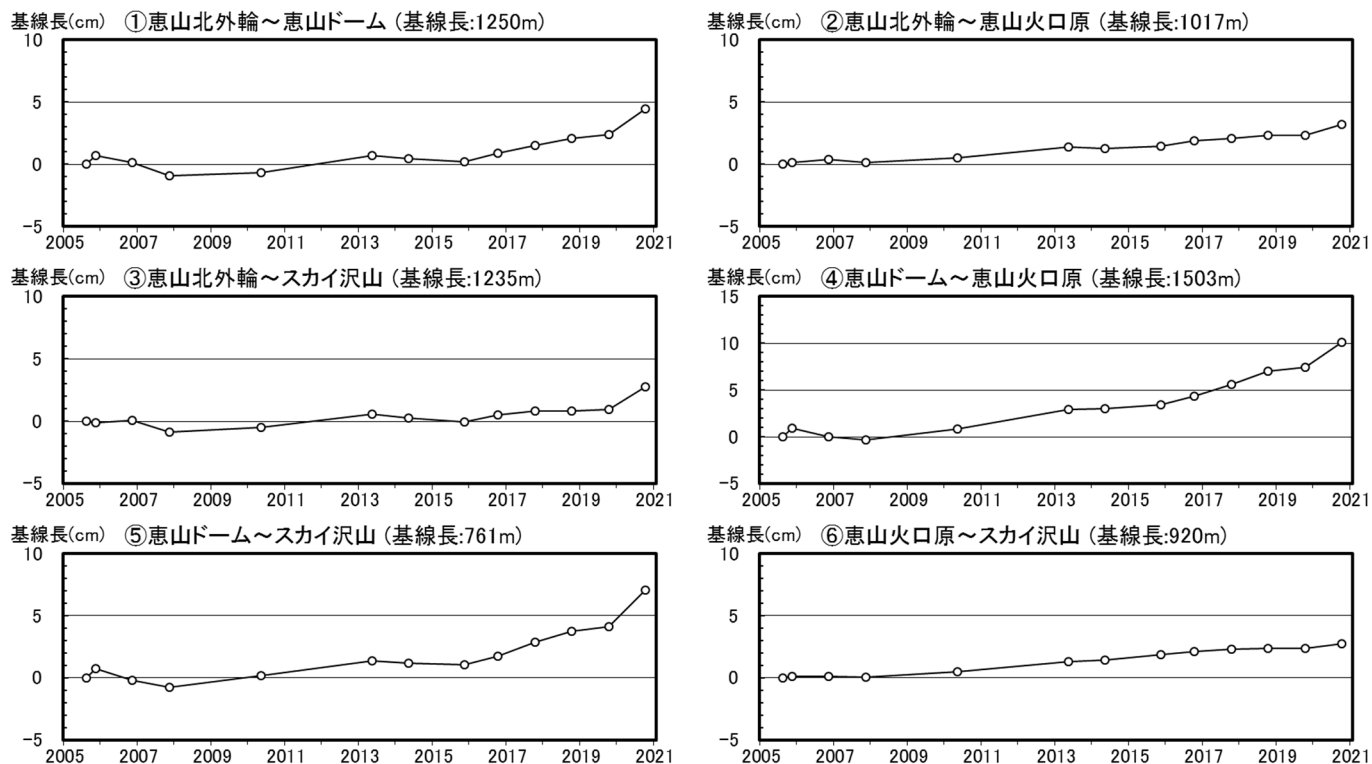


図4 恵山 GNSS 繰り返し観測による基線長変化及び観測点配置図（2005年8月～2020年10月）

GNSS 基線①～⑥は観測点配置図の①～⑥に対応しています。

- ・ 基線長に伸びの変化が観測されています。

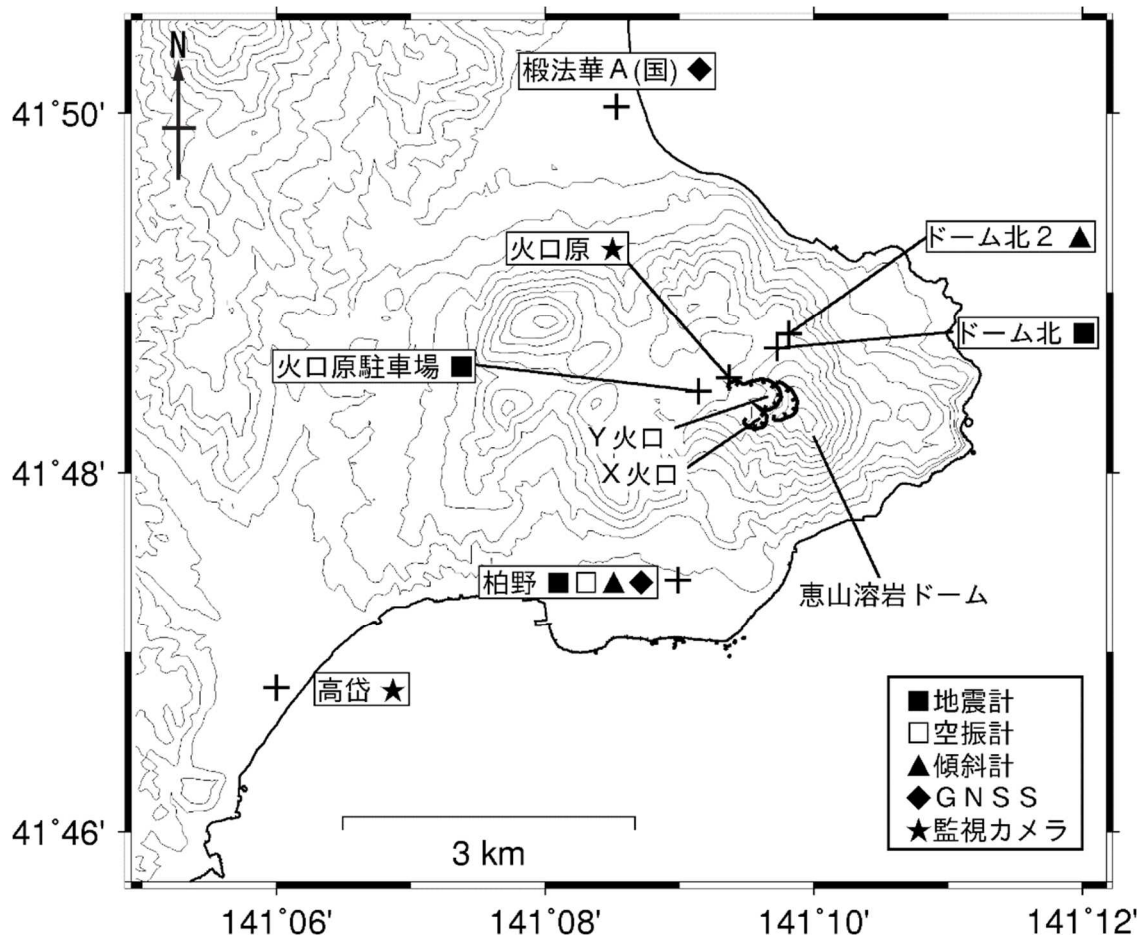


図5 恵山 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

（国）：国土地理院